

風の子学級 7月20日(土) 富士里支館



大きなにじますつかまえたよ!!

野尻湖キャンプ 7月13日~14日 野尻湖支館



楽しかったね! また来年乞うご期待♪

おらが学級 (第2回) 7月13日(土) 古間支館



司法書士の竹内利一さんより「オレオレ詐欺について」

おらが学級 (第3回) 8月3日(土) 古間支館



飯山湯滝温泉にて

やまなみ大学

今年度で32回を迎え国際問題・子育て・一茶についての三講座となりました。

8月2日(金) 総合会館

「冷戦後の国際秩序はどう変わるか」

法政大学名誉教授 岡田 裕之先生



冷戦後、アメリカは唯一の超大国になり、世界はアメリカの覇権によって秩序が維持されると考えられてきました。ところが21世紀になると「世界の工場」中国の勃興は著しく、日本を抜いて世界第二の経済大国になり、経済力あわせて軍事力を強化、アメリカ主導の国際秩序に挑戦しています。

領土紛争を含め、世界の戦争と平和に関わる国際秩序をアメリカ・日本・中国の三国間の相互関係について話されました。

8月4日(日) 総合会館

「子どもの幸せをねがって」

元小学校教諭 牧野 裕之先生

「育てにくい子が増えている」と言われています。そのように感じられるには、いろいろな原因があると考えられますが、原因追求でなく、現実の子どもの姿から考え、現実的な対応法を考えることで、子どもの幸せな生活を作り出していこうと考えて実践してきました。子どもの行動を変えるには、いくつかの原則があります。例えば、否定されれば反抗するか、いじけるかします。反対にほめれば喜びます、良い行動ができます。そんな実践経験を紹介しながら詳しく話されました。



8月7日(水) 総合会館

「小林一茶 生誕250年にあたって」

俳誌「白炎」主宰 仁科 文男先生

一茶の苦渋に満ちた生涯を考えてみるに、自分自身を切り開かんと、大変な勉強、努力を重ねた人でした。父に送られて江戸へ出たのは15歳でした。以来、29歳で初めて故郷へ帰るまでの姿は今もってわからず、遺産相続を巡って、何としても帰郷を果たしたいという努力、赤裸々な姿、故郷への働きかけには深く心が打たれます。寛政三年紀行から文化句帖、父の終焉日記までの順を追って句の説明、その土地、宿泊地の説明を詳しく話されました。



信濃町の石造文化財

信濃町教育委員会

石祠



富士里地区稲付大嶋神社石祠群

石祠(せきし)

石で造られた屋根のある神社の形をしたものを石祠と呼んでいる。

石室、石殿、石厨子などと呼ばれる所もあるが、石祠が一般的である。

石祠は基壇、室部、屋根の三部分から構成されていて、屋根の形により入母屋造り、切妻造り、方形造り、寄棟造り、春日造り、唐破風造り、流造りなどに分けられ、神社建築の様式がその基本となっている。

石祠は墓地にもよくあり、墓標(墓塔)とされているものも多い。初めの頃は庚申などの信講、神社、寺院、お堂の跡に建てたもの、氏神、屋敷神として個人が建てたものも相当ある。石祠の室内に木や紙のお札や、小さな石仏を納めて神体、本尊としている。また山の頂上にはこの石祠があり、頂上の標識ともなっている。

(信濃町の石造文化財、鬼無里村の石仏、参考資料)



野尻地区山桑 杵形



やせ蛙まけるな一茶 あり

一茶記念館・本館共催 6月26日(水) 一茶と歩く北信濃 3回目となる今回は、小布施町梅松寺、六川陳屋跡・句碑、岩松院「瘦蛙まけるな一茶はに有」ここで読まれたのか。湯本旅館・一茶、井泉水資料館で貴重な資料、一茶誕生日5月5日が濃厚になる。雨の中一茶散歩道歩く。

館報

第464号

歴史探訪

一茶記念館・本館共催 6月26日(水) 一茶と歩く北信濃



お父さんガンバ!

夏休み工作教室 柏原支館

7月27日(土)に総合会館において多くの子供達が参加しました。スライド本立て、コーナーラック作り、に挑み、初めてで慣れない手つきながら一生懸命取り組んでいました。



ステキな作品ができました



前は観光客もまばらで商店も少なくなった。もう30年以上も前に小学校の図工の時間にK君と二人で写生に行ったのも黒姫駅だった。高校教師になったK君とは30年近く会っていない。どこかで偶然すれ違ってもお互い分からないのかもしれない。小学校の修学旅行も黒姫駅から乗り換えなしで東京まで行った。車中で食べた駅弁の容器はダルマの形をしていた。その先には東京タワー、国会議事堂、上野動物園、宿泊先の旅館の水道水の臭いと不味さまで様々な思い出を呼び起こさせてくれる。

5月下旬の週末に篠ノ井直江津間に信越線開業125周年号という臨時特別列車が運行された。我が家から見える線路沿いには撮り鉄といわれる鉄道マニアの人たちが10人以上カメラを向けていた。機関車にけん引されたこげ茶色の客車はとても古めかしい姿で車窓には乗り鉄であろう人たちが見えた。自分は鉄道マニアではないが、いつもと違う列車が通るとわくわくした気分になる。以前はさまざまな列車が通った。特急あさま、金沢行き、白山、新潟行きの急行赤倉、黒姫駅には停車しない福井行きの越前という夜行列車もあった。貨物列車には石油や木材を積んでいるものなどがあり20両近い長さのものもあった。しかし1997年の長野新幹線開業後はそれらも見られなくなり現在は上りは全て長野下りは妙高高原から直江津行きた。何か寂しさを感じてしまう。首都圏からの直通列車がなくなった為なのか黒姫駅



(Y)

「おまえの代わりは いくらでもいる」

人権教育指導委員 須坂 昭雄

「おまえの代わりはいくらでもいる…」これは最近注目をあびている「ブラック企業」の決めゼリフだそうです。

これと同じゼリフが、小林多喜二作の小説「蟹工船」の中にもありました。最近芝居でも観ましたが、とても人間としての扱いはありませんでした。

そんな時代から、大正、昭和にかけて私達の先輩は、学校を卒業したら、誰もが就職する完全雇用、社会保障制度を作りあげてきました。

えらいお金持ちになることはかなわないが、就職して結婚して、子供を産み育て、家を建てたり、退職金まで計算して、将来を見すえて定年まで安心して働き、暮らすことができました。

しかし、気がついたら、とんでもない時代になっていました。多国籍企業の時代に入り、世界の各地での失業者の増大、給料の引き

下げ等のニュースが耳に入ってきます。

日本では、一時的にせいの派遣切りが行われました。日本も大変な社会になったと思つたものです。

これは、多国籍企業の利益を優先させるため、人件費の大幅削減を可能にするため労働者派遣法、労働法制度の規制緩和を行い、非正規雇用が増えたためです。

規制緩和が「ブラック企業」の誕生を許す原因と思われまます。

学校を卒業しても、初めから派遣労働で、二つ三つと仕事をかけ持ちで、朝から夜まで働いても、生活は苦しいのです。家の娘達は東京でそんな生活です。日本の良き時代は知りません。

正社員の人も、ある日突然状況が変われば大変です。明日からの生活が見通せなくなるのが現状ではないでしょうか。

アベノミクスと大宣伝していますが、初めはこの言

葉の意味がよくわかりませんでした。が、最近わかってきた事は、それは、ごく一部の多国籍企業、投資家の利益を上げるための成長戦略であること。また、働く人の側には、いつその規制緩和をめざしているようです。中身は、首切りがしやすい、サービス残業合法化等のねらいと聞きました。

これから日本はどうなっていくのだろう。人がまともにも働けない、生活できない、将来を見通せない、そして、使いつてのような扱いは、重大な人権侵害ではないかと考えます。

こんな不公平な社会を維持するために、人と人との差別の拡大再生産、思想・表現の自由の制限に向かうのではないかと心配もしています。

これから先、私はどう生きるか問われている気がしています。



生涯学習

私たちはみな同じ みないっしょ

総合会館 6月29日

NPO法人ムワンガザ・ファンデーショーン・ジャパン代表小林フィデアさんの講演により開催されました。

フィデアさんは飯綱町へ嫁ぎ、毎日が戸惑いの連続。

あからさまな差別を受け、「みんな同じ人間」という思いを伝えたいと、日本語学校に通う。講演ではタンザニアには4つの宝がある。それは年寄り・子ども・障害者・お客さん一つ一つについて話され、日本人は助け合いや思いやりの心を失いかけていると訴える。講演中は日本で受けた差別を感じさせない明るさはどこからやってくるのだろうかと思いました。



成人者代表あいさつ

平成25年8月15日

成人者代表 外谷安祐美さん



本日は、ここ信濃町で成人式を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

先程は松木町長様をはじめ、来賓の方々からお祝いや激励のお言葉をいただき、誠にありがとうございました。中学時代、立志式において決意表明したこと、卒業式において大人になった自分に思いを馳せながら「手紙」を合唱した時のこと、様々なことが懐かしく思い出されます。

さて、私達は成人を機に様々な権利を得ました。しかしながら、権利には義務が伴うということを忘れてはならないと思います。

また、成人として自分の決断には責任を持たなければなりません。つまり、時代や、環境、人のせいせず、自分で決めたことは責任をもって最後までやり遂げるということが重要だと思います。

現代社会は少子高齢化、環境・エネルギー、外交、財政等多くの問題が存在し、これからも様々な問題が発生すると考えられます。これらの問題を解決するのも、しないも紛れもなく未来を担う私達です。

グローバル化が進む変化の激しい環境の中で、どのような大人を目指し、社会にどのように貢献していくのか、するべきなのかを常に問い続け、自己実現の為だけでなく、自分にできることは何かを考え実行し、社会貢献して参りたいと思います。

最後となりましたが、二十年間愛情を持って育ててくれた両親家族、温かく時には厳しくご指導くださいました先生方や地域の皆様、関わったすべての方々、本日の式典の開催にご尽力くださいました皆様に、心より感謝と御礼を申し上げ、代表の挨拶とさせていただきます。

祝・成人

信濃町成人式
2013年8月15日
総合会館

◎対象者…男性49名 女性39名 合計88名
◎出席者…男性37名 女性27名 合計64名



平成25年度信濃町成人式



新着図書



- ☆Another エピソード 綾辻 行人
- ☆オレたちバブル入行組 池井戸 潤
- ☆想像ラジオ いとう せいこう
- ☆ねじれた絆 赤ちゃん取り違え事件の十七年 奥野 修司
- ☆島はぼくらと 辻村 深月
- ☆楽園のカンヴァス 原田 ハマ
- ☆海賊とよばれた男 上・下 百田 尚樹
- ☆政と源 三浦 しをん

(お詫びと訂正)

7月号の館報、成人者名簿のなかでお名前前に誤りがありました。

- 誤 青柳 亨四朗さん
- 正 青柳 享四朗さん
- 誤 宮崎 和貴さん
- 正 宮崎 和希さん

訂正してお詫び申し上げます。

☆式典欠席の方で集合写真をご希望の方は総合会館まで連絡下さい。(H25年9月9日まで)